



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2026年09月14日 第1284「週刊五十嵐レポート」

暗黙知を資産に

9月10日付日経新聞、「エアコン点検 AIが指導役」という記事。ダイキン工業はエアコンの点検作業を支援するAIを開発。熟練のエンジニアが担ってきた若手作業員の指導をAIが代替し、人手不足に対応する。世界的な猛暑で空調需要が拡大するなか、2027年夏に現場への導入を目指す。

AIが映像から作業漏れがないかを確認。結果はチェックリストの形で、点検終了から1分以内に作業員のスマートフォンに届く。細かい作業内容をそれぞれ認識し、エンジニアによって異なる作業順序に柔軟に対応。ダイキンは20年からこの端末を利用している。従来は熟練者が遠隔で作業の様子を見ながら、経験の浅い技術者を指導。エアコンの修理作業が集中する夏場には熟練者側の人手が足りず、支援が行き届かないこともあった。

現場作業(アナログ)→首掛けカメラで映像化(デジタル)→作業映像を集約(情報共有)→約200時間の映像+注釈(データ)を蓄積→AIに学習→抜け漏れを分析・チェック→作業員へ1分以内にフィードバック→将来は作業中に音声指導→作業品質・教育・保守体制そのものを改善

熟練者の頭や手の中にあった「暗黙知」をAIへ移す。従来なら、「この音なら少しおかしい」「この部品を見る前にこちらを確認する」「この状態なら次はここを見る」といった判断は、熟練者に依存していた。映像+作業内容+正しい手順+結果として蓄積すると、熟練技術が会社の資産になる。

中小製造業の場合、「ベテラン社員が何をしているかを動画で撮る」「どこを見て判断しているかを文章にする」「チェックリストにする」「不良・失敗事例を蓄積する」ここまでで十分。その後AIに、「この作業に抜けはないか」「過去の不良事例と似ていないか」「新人に次の作業を説明して」とやらせる。ベテランの仕事を記録する→標準化する→蓄積する→AIに覚えさせる→新人教育・品質管理に使う(中小零細はこの手間を面倒くさがらずにやれるかが2030年以降が決まる)。熟練者1人が新人1人を見るというモデルから、熟練者のノウハウをAI化し、多数の新人を支援するモデルに変える。AI導入とは、自社の仕事をデジタルで残し、会社の経験をAIが使える状態にすること。

ちょっと
気になる出来事

9月11日付日経新聞、「プロスポーツ、アジアに輸出 Bリーグ、マニラで主催試合 選手とコラボで訪日いざなう」という記事。

日本のプロスポーツが新たなコンテンツ産業としてアジアで台頭しつつある。バスケットボールのBリーグは9日、初の海外主催試合をフィリピンで開いた。これに合わせ経済産業省が商談会を主催した。観客数やイベント収入の増加を狙い、他競技も新たなファンを開拓する。

Bリーグのフィリピン戦略は、フィリピン人選手を日本へ呼ぶ→日本のクラブにフィリピン人ファンがつく→現地で放映・イベント・試合をする→日本企業と現地企業をつなぐ→日本への観光・観戦につなげる

アニメ・漫画との共通点。『スラムダンク』→バスケットボール→Bリーグ→日本旅行→アリーナ観戦→グッズ

SVリーグなら、『ハイキュー!!』→バレーボール→日本の選手・クラブ→日本観戦

コンテンツ→キャラクター・選手→商品→リアル体験→観光 というIP経済圏を作ろうとしている。スポーツも漫画・アニメとおなじIP。



一口メモ
知識

組織に対する貢献を問う

組織に対する自らの貢献を問うことは、いかなる自己啓発が必要か、いかなる知識や技能を身につけるか、いかなる強みを仕事に適用するか、いかなる基準を持って自らの基準とすべきかを考えることである。

(「経営者の条件」より)

ドラッカー名言集 仕事の哲学 (ダイヤモンド社)より

「自分は社長として何に貢献するのか」と考える。単に「毎日忙しく働く」ことではない。

たとえば、1. 会社を5年後も存続・成長させること 2. 社員が力を発揮できる環境をつくること 3. 顧客に選ばれる商品をつくること 4. 次の経営者を育てること などが「貢献」になる。そうすると、「自分に何が足りないか」が見えてくる。

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

